

ラブアース・クリーンアップ2004



矢矧川河口付近

近年、世界各地で多雨、干ばつ、高温といった異常気象が多発しています。これに大きく関わっているのが環境問題です。車の排気ガス、ゴミの燃焼時にできるダイオキシン、山林伐採などはオゾン層を破壊し地球の温暖化へとつながっています。地球環境から見るともう限界の状況です。

今年のラブアースでは十三トンのゴミが回収されました。特に発泡スチロール、ビニール類が年々増加しており海を汚染し、海に生きる多くの生物にさらに悪影響を及ぼしています。これから海、山へと出かける機会も多いと思いますがゴミは自宅に持ちかえるようにしましょう。

参加した百合ヶ丘区の仁科^{にしな}さんは、「きれいな川や海、緑あふれる野山を身近なものにしておけることが私たちの責任だと思います」と語っていました。

6月定例会

平成16年第2回定例会が、6月3日から18日までの16日間の会期で開催されました。

この6月定例会ではJ・R海老津駅南側開発の基
本構想業務委託や国際交流員の来日費用などの一
般会計の補正予算をはじめ、住居表示、税条例及
び国民健康保険税の改正などの議案9件と請願、
意見書については可決されました。陳情につい
ては継続審査となっております。

○岡垣町固定資産評価審査
委員会委員の選任について
(選任)

○岡垣町印鑑条例の一部を
改正する条例
(可決)

○岡垣町非常勤消防団員に
係る退職報償金の支給に関
する条例の一部を改正する
条例
(可決)

○住居表示に伴う字の区域
及び名称の変更について
(賛成多数可決)

○平成16年度一般会計補正
予算(第1号)
(可決)

○へ専決処分の承認を求め
ることについてへ岡垣町税
条例の一部を改正する条例
(承認)

○へ専決処分の承認を求め
ることについてへ岡垣町国
民健康保険条例の一部を改
正する条例
(承認)

○平成15年度岡垣町一般
会計繰越明許繰越計算書
(報告)

○平成15年度岡垣町公共下
水道事業特別会計継続費繰
越計算書
(報告)

○平成15年度岡垣町土地開
発公社決算報告について
(報告)



中心市街地特別委員会(中心市街地の活性化で掛川市視察)

陳情

○岡垣町障害児学童保育
(仮称)設立のお願い
(継続審査)

請願

○緊急地域雇用創出特別交
付金の継続・改善を求める
請願
(賛成多数採択)

意見書

○緊急地域雇用創出特別交
付金の継続・改善を求める
意見書
(可決)

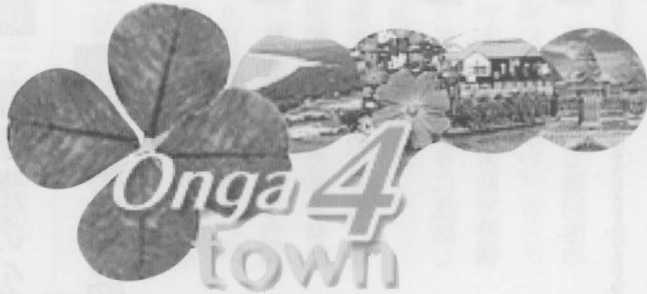
議 決 状 況



文教厚生常任委員会(NPOと行政のかかわりについて草津市視察)

遠賀郡4町合併に関する 住民投票条例…全員賛成

可決



第2回臨時会

平成16年7月21日、平成16年第2回臨時会が開催されました。議案第39号「岡垣町が芦屋町、水巻町及び遠賀町と合併することについて町民の意思を問う住民投票条例の制定について」と、議案第40号「平成16年度岡垣町一般会計補正予算(第2号)」について審議されました。
住民投票を実施するにあたり住民説明会や投票事務に伴う補正予算六八七万九千円が計上されましたが、条例の制定とともに全員一致で可決しました。

投票日

9月5日(日)

投票日の投票時間は午前7時から午後6時までです。

なお、8月31日に告示され、

9月1日(水)から9月4日

(土)まで岡垣町役場にて期日

前投票が行われます。その間の

投票時間は午前8時30分から午

後8時までです。

積極的に住民説明会に参加しましょう！

8月16日(月)から8月27日(金)までの間に全10回、午後7時から「遠賀郡4町合併に関する住民説明会」が開催されます。開催日及び会場は、広報おかがき8月10日号でご確認ください。

一〇歳以上の永住外国人の方も投票できます

岡垣町に3カ月以上住んでいる満二〇歳以上の永住外国人の人は、岡垣町選挙管理委員会へ文書で申請すれば住民投票ができます。

投票率が五〇パーセントを超えないと開票できません

住民投票は、投票資格者の二分の一以上の投票により成立するため、投票率が五〇パーセント未満の時は開票されません。

住民の皆さんの意思を問う大切な投票です。

必ず投票に行きましょう！



大田 園治

問 猿田池の公園整備化を

答 条件を解決し取組む

問 公園整備計画について

町民1人あたりの公園面積を17年度までに4平方メートルとしているが、現在の実態は。

答 現在二・四四平方メートルで未達成である。

問 公園整備計画は何をベースに推進しているのか。

答 マスタープラン、緑の

基本計画や環境ビジョンをもとに実行している。

問 住民が求めている公園

は自然を活かした総合自然公園や運動公園、そして親水公園だと思うが。

答 私もそのように認識しているのですが、現実的に努力したい。

問 西山田にある猿田池の

環境に劣悪な状況があるが、親水公園として早急に整備すべきと思うが。

問 衛生や防犯面で劣悪な環境にあるが、親水公園として早急に整備すべきと思うが。

公園整備が中断されているがなぜか。

答 平成3年に調査したが

用地の使用権や水利権などの問題で中断したままである。

答 もう一度問題点を調査し、解決して公園化に向けて取り組むたい。

問 高齢者福祉について

行政と社協はもつと連携を強化して福祉行政を積極的に推進すべきと思うが。

答 福祉施策を充実、促進していくためにパートナーシップを発揮し、体制整備や助成支援を強めていきたい。

問 共助型福祉が日本人気

質に一番合っている。小地域福祉ネットワーク活動が

計画より進んでいないがその原因と対策は。

答 町内全区に組織

化されるように、社協とも連携し民生委員増や補助金等の支援をしたい。

問 地域コミュニティ

づくりで福祉の向上が図られると思うが。

答 先進地等について研究・調査し推進したい。



猿田池の早急な整備を

問 住民サービスに大きな影響を与える新市の財政計画に賛成か

答 賛成する



合併問題も大詰め

合併問題について

問 財政シミュレーション

を分析すると、合併した場合は非合併に比べ20年間で

地方交付税は約一〇〇〜一三三億円減少するかどうか。

答 間違いありません。

問 歳出の物件費について

説明を求める。

答 15年度決算予定額四十



久保田 秀昭

五・九億円を類似団体13年度決算平均三十五・三億円まで10年間で縮減する試算です。

問 結局差し引き一〇・六

億円減らすことになる。これは岡垣町15年度分決算額

12億円の八十八・五パーセント、遠賀町の百パーセントになる。類似団体との違いは何か。

答 一〇万人の人口で類似

団体が、その金額でやっています。実現することは厳しい金額ですが、やっつけ

くように努力します。

問 類似団体の支所や図書館は何か所あるか。

答 支所はありません。図書館は1つです。こうなれば物件費は減ります。

問 これだけ減らしても物件費は一〇億円にならない。

あとは委託や臨時職員を減らす。施設は造らない、他の施設も閉鎖する。学校の統廃合等も考えられる。元々

委託や臨時職員雇用の理由は財政出費を抑えるためだから、これからはそう簡単

に減らないと思うがどうか。

答 そのとおりです。

問 今回明らかになったことは10年間で支所を無くす

ことなどをはじめとする徹底した物件費削減を行い、住民への行政サービスに大きな影響を与えることです。

「どこが住民福祉向上のための合併か」と言わざるを得ない。これが合併の実態だ。町長は合併協議会でこれを前提とした新市建設計画の財政計画に賛成するのか。

答 大変厳しいが、賛成します。



石井 要祐

問 快適な交通基盤づくりは

答 予算を増額して取組む

問 岡垣バイパスの進捗状況は
問 岡垣バイパス工事の現況はどうなっているのか。

答 岡垣宗像線が現在改良工事中で18年度に完成予定です。

答 備は交通安全で心配だが現況はどうなっているのか。

答 駅から交差点までの約一五〇メートルが混雑している。特に雨降時は公共交通機関の利用をお願いしたい。

問 研究していきたい。
問 高陽入口の道路整備は全く行われていない、歩道設置もなく急カーブで道路幅も狭く、車の離合が困難で町内の危険道路の一つと思う。道路整備を真剣に取組むべきではないのか。

答 4車線化は、山田～山田峠区間が17年度に、野間～山田区間が19年度に供用開始予定で二つのトンネル完成は5年ぐらいかかる。

問 海老津～源十郎線（都市計画道路）の進捗状況は。

答 古い団地内の道路は狭いのでふたがけすることで4メートル道路となるところを優先して整備を進めているが、今年度は三千万円枡を増額して早く実行したい。

問 混雑している現状に対してぜひ専門知識をとりいれ解消にむけての計画実施を望むが。

答 具体的に考えていないが切実な高齢化の中、生活道路の整備として再度考えていきたい。

問 県道関係の状況はどうか。

問 団地内の狭い道路の整

問 海老津駅JR海老津駅

答 駅前の混雑は認識しているが、今どうするかについての対策はないが、今後

問 改良率は七十四・二パー

▶ 4車線化早期完成が待たれる



セント、舗装率は八十八パーセントとなっている。



竹内 和男

加速して合併を進めるべき
問 三位一体の改革が着実に実行に移されている。国と地方の借金体質を改善し、本来最も行政サービスを享

答 国の財政支援が期待できる合併後10年の期間内に、新都市都市構想に基づく新しい都市計画の実行、そして厳しい行政改革による行政財政の効率化を速やかに進め

問 コミュニティバスなどの運行や、JR海老津駅のエレベーター設置、代行運

答 公共交通体系整備の基本方針はどのようなのか

答 すでに防犯監視システムや「防犯ブザー」の配付、「子ども110番の家」などの実施、危機管理マニュアルを策定し推進している。

問 校内・登下校路の安全対策は

答 危機管理マニュアルで推進

問 転売されているバスのさらなる利便性の向上等の提言を昨年から行っている。ようやく本年6月に計画がまとまった。その基本方針はどのようなのか。

答 安定的かつ安全で利用しやすい公共交通体系の確立を目指す。

問 障害児の学童保育の早期実現を



豊前市障害者地域生活支援センター

問 岡垣町の障害児学童保育についての陳情書が提出されている。子育て支援のニーズとその支援についての考えは。町の考えは。
答 早急に障害者の方々の方々の学童保育について調査・研究していきます。

問 乳幼児の医療費制度を就学前までに

答 厳しい財政状況、慎重に検討

介護保険不正受給問題について

問 中間市「ふれあいの家青葉園」が、介護報酬を不正に請求・受給をし、関係自治体と住民に重大な被害を与えたことは、絶対に許せない。

答 詐欺事件が発生したことは真に遺憾である。県は指定を取り消した。所得隠しや財産隠し、返還を不当に逃れようとするなど悪質であり、六保険者は県警に告訴した。

問 再発防止対策は、どのように考えているか。

答 介護保険広域連合は県と共同して介護給付の適正化に取り組んでいる。介護

利用者や事業従事者からの問題点等の情報提供を願っている。

問 この制度の監督・指導権限を保険者に移すことや、ケアマネージャーの事業所からの独立、行政オンブズマンの設置などで再発防止を強化できないか。

答 制度の中で難しい面もあるが、県と連携を強めて適正化を進めていきたい。乳幼児医療費助成制度について

問 通院の場合も、乳幼児医療費助成制度の就学前までの拡充を求める。

答 法に基づき町の行動計画を策定中で、医療費制度も含め、子育て支援を総合的に取り組んでいきたい。厳しい財政状況の中なので、慎重に検討したい。

問 この無料化制度は単なる経済的負担軽減だけではないか。

答 詳細に調査・研究はしていない。健全な行財政運営は当然の責務と認識している。

問 新市の庁舎の位置決定が合併後に先送りされたが問題点は整理されたか。法定協議会の審議は回数が増えたが内容は深められたか。

答 庁舎の位置、建設などは特例債の期限内に財政状況を見て、新市になって審議して決定する。新市の建設

問 重要課題先送りの問題は

答 合併ではなく自立を目指す自治体は独自の改革で財政運営を検討している。

問 合併協の状況で苦渋の選択

答 合併ではなく自立を目指す自治体は独自の改革で財政運営を検討している。



平山 弘



新市の名称も遠賀市に決定

あるが、県と連携を強めて適正化を進めていきたい。乳幼児医療費助成制度について

く、若い世帯の無限の安心につながっている。その行動計画はいつまでに策定するのか。

問 合併問題について
答 住民説明会と住民意向把握はいつ行うか。
問 七月下旬から八月月上旬に説明会を行い、その後住民の総意を把握したい。



子どもは元気が一番

同法の欠陥が日々明らかになっていく。
三、地方の三位一体の改革も県市町村の全国決起大会で三位バラバラ改悪と激しく抗議と批判が起こっている。その政府のおしつけ合併を無批判的に受け入れることは大きな不安がある。合併すれば将来に向け安心できる、良くなる責任もつて言えるのか。
問 庁舎の位置、建設などは特例債の期限内に財政状況を見て、新市になって審議して決定する。新市の建設



細川 光利

答 合併協の状況で苦渋の選択

問 重要課題先送りの問題は

答 合併ではなく自立を目指す自治体は独自の改革で財政運営を検討している。

問 庁舎の位置、建設などは特例債の期限内に財政状況を見て、新市になって審議して決定する。新市の建設

問 合併協の状況で苦渋の選択



山田 隆一

問 下水道完備の最終年度は

答 平成27年度が最終年度である

岡垣町における汚水処理の現状と今後の計画

と計画している。

問 町民等しく行政サービスを受ける権利を持っているにもかかわらず、下水道事業開始後20年経つがまだ整備されていない地域がある。全域が完備されるのはいつか。

答 現在までの普及率は七十一パーセント、水洗化率は九十六パーセント。現在の認可区域は。

答 吉木地区から順次整備を進めて行くが、供用開始は一番早ければ平成19年から順次供用開始、最終年度が平成22年度となる予定です。

問 現在までの普及率は。

答 七十一パーセント、水洗化率は九十六パーセント。

問 行政として対費用効果を考えたときは認可区域以外の民家の点在している区域は、区民の了解が得られ

れば個人負担も少なく、町の持ち出しも少なくてすむ市町村設置型の合併浄化槽事業を推進する考えはないか。

答 今後の取組みとして考えていきたいが、福岡県汚水処理構想との整合性を図りながら推進できるものなら推進していきたい。

問 今後の取組みとして考えていきたいが、福岡県汚水処理構想との整合性を図りながら推進できるものなら推進していきたい。

答 平成27年度が最終年度

問 三吉地区の供用開始はいつごろか。

答 三吉地区の供用開始はいつごろか。



毎日楽しく健康づくり

問 介護保険不正受給の防止策は

答 県と共同して適正化に取り組む

NPO法人の介護保険不正受給問題を教訓化し、再発防止を

問 中間市のNPO法人「ふれあいの家青葉園」が介護報酬約一億四千万円の不正受給をし、刑事告訴までされているが、この事をどのように

受け止めているのか。

問 介護保険制度が発足した当時は福祉等に精通した機関が少なく、営利を目的として新たに他事業種から参入した事業所も多く、多くの問題が生じており、指

定取消し処分もされています。今回の詐欺行為は介護保険を食い物にしたもので

問 北九州市が約七千九百六十万円、直方市が二千五百七十万円、中間市が一千二百八十万円、飯塚市が三六五万

問 他五保険者の分はいくらか。

問 不正の中身はどのようなになっているのか。

答 訪問介護の水増し、ヘルパーを派遣していないのに派遣したようにしている。

問 再発防止のため町ができることは何か。

答 県と共同して介護給付の適正化にとりくんでいく。また利用者にも今回のような情報を提供していく。

問 悪質、財産の隠匿などがあつたからです。

問 不正の中身はどのようなになっているのか。

答 訪問介護の水増し、ヘルパーを派遣していないのに派遣したようにしている。

問 再発防止のため町ができることは何か。

問 税金と保険料からで

ない。現状で今回のことは水山の一角と言われている。2002年度だけで全国三十二億円の不正受給がある、このお金はどこから出ているのか。

問 税金と保険料からで

ない。現状で今回のことは水山の一角と言われている。2002年度だけで全国三十二億円の不正受給がある、このお金はどこから出ているのか。

問 税金と保険料からで

ない。現状で今回のことは水山の一角と言われている。2002年度だけで全国三十二億円の不正受給がある、このお金はどこから出ているのか。

問 税金と保険料からで

ない。現状で今回のことは水山の一角と言われている。2002年度だけで全国三十二億円の不正受給がある、このお金はどこから出ているのか。

問 税金と保険料からで

ない。現状で今回のことは水山の一角と言われている。2002年度だけで全国三十二億円の不正受給がある、このお金はどこから出ているのか。



着々と進む下水道工事



西田 陽子

請願・意見書・陳情

「緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める請願書」が提出され総務常任委員会に付託されました。

審議の結果、賛成多数で採択され、議会から左記の意見書を提出いたしました。

請願者 建交労福岡県本部八幡支部
執行委員長 鳥丸 大
紹介議員 久保田 秀昭
細川 光利

〈意見書要約〉

緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める意見書

長引く不況・リストラなどで失業率五パーセント。完全失業者数三五〇万人以上という深刻な事態が続いている。国が実施した緊急地域雇用創出特別交付金は追加予算が組まれたにもかかわらず予算規模が少ないことや、雇用期間や事業内容に制限があるため失業者を雇用する上で必ずしも有効な対策となっていない。政府においては次の事項について適切な処置を講ずるよう強く要望する

一、緊急雇用地域雇用創出特別交付金を大幅に増額するとともに、事業内容の緩和により、自治体が有効に活用できるように改善し、平成17年度以降も事業を継続実施すること。

内閣総理大臣 小泉 純一郎 殿
厚生労働大臣 坂口 力 殿

岡垣町議会 議長 木原 信次

〈陳情書要約〉

岡垣町の障害児学童保育(仮称)設立のお願い

障害児を持つ家庭の経済的事情から、保護者が就労しなくては家計が維持できない、また子どもの預け先がないため就労できないケースが増えています。

障害児は学年が上がっても精神年齢が低いため、身辺自立が遅く、排便、衣服の着脱、食事、入浴に至るまで子どもに合わせた介護必要となります。また危険を回避する事も困難なため、保護者がかかりつきりになることがほとんどです。特に夏休みなどの長期休暇中は、四六時中こどもに気配りをしなくてはならないため家事、買い物、睡眠も思うようになり、保護者の肉体的、精神的疲労は限界に達しています。

近年、障害児を持つ保護者の訴えに耳を傾け、支援の手を差し伸べる地方自治体が増えています。岡垣町につきましても独自の障害児学童保育の設立を切に願います。

陳情者 岡垣町手をつなぐ親の会

会長 山 本 博 章

障害児を地域で支える会ステップ

代表 古田 一 余 外一名

編集後記

月日の経つのは早いもので、平成16年もすでに三分の二が過ぎ去ろうとしています。

この議会だよりが皆様に届くころは、夏休み真っ只中で、海やプール、キャンプにと、子どもさんといっしょに夏休みを過ごされている方も多いのではないかと思います。「夏バテ」にはご注意を。

ところで、洪水のような情報社会に住んでいると、議会だより発行が2カ月後ではいかにも遅れた印象が強いのですが皆様に熟読していただきたく、今回も前号と同じく関心の高い一般質問を中心に掲載しました。今議会は3日から18日間で開催され傍聴者の多い議会でした。特に一般質問は2日間で約五十名の方が熱心に傍聴くださり、質問者も熱の入った論戦を繰り広げました。九名の議員が質問しましたが、うち五名が遠賀郡4町の合併について執行部の考えを問いました。主な点は合併の可否、住民説明会、今後の協議の日程などです。いかに合併について町民の皆様に関心があるか物語っています。

(委員 土屋 清資)

議会広報委員会

委員長 竹内 和男
委員 土屋 清資
委員 曾宮 良壽
委員 平山 弘
委員 大堂 圀治